2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月10日

上場会社名　　株式会社アイ・エス・ビー　　上場取引所　東
コード番号　　9702　　ＵＲＬ　https://www.isb.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）若尾　一史
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）廣瀬　雅也　　ＴＥＬ　03-6775-3270

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	28,562	3.0	2,206	27.5	2,281	30.2	1,534	58.7
2025年12月期第３四半期	27,719	10.7	1,729	△19.7	1,752	△20.1	967	△37.6

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　1,502百万円（46.1%）　2025年12月期第３四半期　1,028百万円（△34.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	133.80	ー
2025年12月期第３四半期	84.44	ー

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	21,289	15,426	72.5
2025年12月期	21,610	14,522	67.2

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　15,426百万円　2025年12月期　14,522百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	55.00	55.00
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期（予想）				70.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	4.0	3,000	29.6	3,050	27.9	1,850	28.9	161.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	11,478,497株	2025年12月期	11,463,141株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	149株	2025年12月期	149株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	11,471,823株	2025年12月期３Ｑ	11,452,012株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、第３四半期決算短信（添付資料）３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しており、また、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（会計方針の変更に関する注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前四半期連結会計期間との比較・分析にあたっては、当該見直し反映後の金額によっております。

当第３四半期連結累計期間における我が国経済は、各種政策効果や雇用・所得環境の改善に向けた取り組みに支えられた個人消費の底堅さに加え、旺盛なAI関連需要や省力化に向けた企業投資が牽引役となり、緩やかな回復基調を維持いたしました。しかしながら、地政学的リスクの長期化に伴う資源価格の変動やインフレ圧力の持続、さらには主要国の金融政策動向をはじめとする海外経済の不確実性など、実体経済への下振れ懸念から先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは2026年度の目標達成に邁進するとともに、2030年度を最終年度とする「ISBグループ中長期経営計画2030」のもと、「ISB革新　飛躍に向けて～from challenge to breakthrough～」をテーマに掲げ、社会価値と経済価値の向上に向けた各施策を推進しております。

その結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高285億62百万円（前年同四半期比3.0%増）、営業利益22億６百万円（同27.5%増）、経常利益22億81百万円（同30.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益15億34百万円（同58.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（情報サービス事業）

「モビリティソリューション」におきましては、携帯端末市場の縮小傾向が続く中、周辺開発需要を着実に取り込んだものの、車載分野で顧客の開発計画見直しや案件延期・縮小の影響を受け、売上高は前年同期に比べわずかに減少いたしました。

「ビジネスインダストリーソリューション」におきましては、医療分野やAI・IoT関連が堅調に推移した一方、組込み分野では案件の拡大・獲得が伸び悩み、売上高は前年同期と同水準にとどまりました。

「エンタープライズソリューション」におきましては、公共分野での地域展開と自治体案件の獲得が着実に進み、領域全体を牽引いたしました。また、金融分野の主要顧客を中心に、従来の証券分野に加え、保険・銀行・生成AI領域でも受注を獲得したことで堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

「プロダクトソリューション」におきましては、MDM事業のキッティングから保守まで一貫した提供体制を強みに、既存顧客からの継続的な引き合いに支えられ、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

利益面につきましては、営業活動の強化及び従業員の処遇改善を含む成長投資を継続したものの、増収効果によりこれらを吸収し、セグメント利益は前年同期に比べ堅調に増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は238億４百万円（前年同四半期比1.8%増）、セグメント利益は13億２百万円（同26.8%増）となりました。

（セキュリティシステム事業）

リカーリングビジネスが引き続き順調に拡大したことに加え、各種設備リニューアル需要への傾注が奏功して案件受注が堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

利益面につきましては、継続的な製品開発投資や、人員増・報酬改定に伴う人件費の増加、ならびに施工関連費用の高騰といったコスト増加要因があったものの、増収効果や比較的高利益率なリカーリングビジネスの拡大によりこれらを吸収し、セグメント利益は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

以上の結果、当事業における売上高は47億58百万円（前年同四半期比9.7%増）、セグメント利益は８億94百万円（同32.6%増）となりました。

今後の見通しにつきましては、世界情勢や業界動向の変化に伴い、部材仕入価格の上昇や製品の供給制約に加え、販売・施工面におけるコスト増加や人員不足に伴う工事遅延、さらには市況影響による案件動向の変化といったリスクが懸念されます。当社グループといたしましては、引き続き外部環境が事業活動に及ぼす影響を注視するとともに、適切なリスク管理と案件確保に努めてまいります。

（２）当四半期の財政状態の概況

当第３四半期連結会計期間末における資産は212億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ３億20百万円減少いたしました。これは主として現金及び預金や受取手形、売掛金及び契約資産、投資有価証券等の減少額が、前払費用や建物及び構築物等の増加額を上回ったことによるものであります。

負債は58億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億24百万円減少いたしました。これは主として支払手形及び買掛金や未払金、未払法人税等の減少額が、賞与引当金や契約負債等の増加額を上回ったことによるものであ

ります。

純資産は154億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ９億３百万円増加いたしました。これは主として利益剰余金の増加によるものであります。

なお、自己資本比率は72.5％と5.3ポイント増加いたしました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年２月13日に「2025年12月期　決算短信」で公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,078	8,845
受取手形、売掛金及び契約資産	6,388	6,206
前払費用	277	425
商品	1,131	995
仕掛品	0	3
貯蔵品	1	2
貸倒引当金	△5	△4
その他	73	121
流動資産合計	16,947	16,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,237	1,321
減価償却累計額及び減損損失累計額	△190	△253
建物及び構築物（純額）	1,047	1,068
土地	354	354
その他	1,067	1,171
減価償却累計額及び減損損失累計額	△544	△678
その他（純額）	522	492
有形固定資産合計	1,923	1,915
無形固定資産		
のれん	286	233
顧客関連資産	368	337
その他	114	168
無形固定資産合計	769	739
投資その他の資産		
投資有価証券	803	755
長期前払費用	13	75
差入保証金	764	781
繰延税金資産	328	369
貸倒引当金	△0	△0
その他	59	59
投資その他の資産合計	1,969	2,041
固定資産合計	4,663	4,695
資産合計	21,610	21,289

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,373	1,468
契約負債	185	270
短期借入金	120	120
未払金	1,586	737
未払費用	294	374
未払法人税等	600	400
未払消費税等	340	486
賞与引当金	34	825
役員賞与引当金	54	54
受注損失引当金	115	―
その他	403	177
流動負債合計	6,109	4,916
固定負債		
退職給付に係る負債	263	266
役員退職慰労引当金	85	102
資産除去債務	440	451
繰延税金負債	172	109
その他	17	16
固定負債合計	978	946
負債合計	7,087	5,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,410	2,426
資本剰余金	3,014	3,030
利益剰余金	8,605	9,510
自己株式	△0	△0
株主資本合計	14,030	14,966
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	375	341
為替換算調整勘定	116	119
その他の包括利益累計額合計	492	460
純資産合計	14,522	15,426
負債純資産合計	21,610	21,289

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	27,719	28,562
売上原価	21,284	21,637
売上総利益	6,435	6,925
販売費及び一般管理費	4,705	4,718
営業利益	1,729	2,206
営業外収益		
受取利息	13	10
受取配当金	14	21
保険配当金	0	－
受取保険金	－	5
その他	9	43
営業外収益合計	37	80
営業外費用		
支払利息	1	1
手形売却損	0	0
為替差損	5	1
その他	8	2
営業外費用合計	15	5
経常利益	1,752	2,281
税金等調整前四半期純利益	1,752	2,281
法人税、住民税及び事業税	956	834
法人税等調整額	△171	△87
法人税等合計	785	746
四半期純利益	967	1,534
親会社株主に帰属する四半期純利益	967	1,534

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	967	1,534
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	△34
為替換算調整勘定	△38	2
その他の包括利益合計	61	△32
四半期包括利益	1,028	1,502
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,028	1,502

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

①簡便な会計処理

固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自2025年１月１日　至2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		調整額（注）	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	23,384	4,335	－	27,719
セグメント間の内部売上高又は振替高	92	37	△129	－
計	23,476	4,373	△129	27,719
セグメント利益	1,027	674	28	1,729

（注）１．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前四半期連結会計期間のセグメント情報については、当該見直し反映後のものを記載しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自2026年１月１日　至2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		調整額（注）	合計
	情報サービス	セキュリティシステム		
売上高				
外部顧客への売上高	23,804	4,758	－	28,562
セグメント間の内部売上高又は振替高	85	29	△115	－
計	23,889	4,788	△115	28,562
セグメント利益	1,302	894	9	2,206

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)
当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。
また、前連結会計年度において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第３四半期連結累計期間に係る数値については、当該見直し反映後のものを記載しております。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	286百万円	281百万円
のれんの償却額	53	53